

I 2・3月の連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月日	名称	主催	内容
2/5(日)	指導者のつどい	コミッショナー	AIS ポリシーについての講演
2/18(土)	団委員研修会	総務委員会	初任者(2~3年以内)の団委員研修です
3/5(日)	第74回ボーイスカウト講習会	ボーイスカウト日本連盟	指導者導入訓練。体験を通して本運動の概要とスカウト教育の原理と方法について知る。
3/11(土)・12(日)	高萩市・親子デイキャンプ	高萩市	高萩市の小学生を対象とした事業に協力
3/19(日)	IB-GP 県大会	コミッショナー	笠間芸術の丘公園で開催

II 事務局からのお知らせ

(1) 登録事務について

先日、地区事務長会議を開催し来年度の登録事務手続きについて、下記のことを確認いたしました。各団におかれましては、地区の登録審査、県連盟の締め切り日に留意していただき、遅れのないようにお願いいたします。

- ・各地区での各団でのネットの担当者の確認
- ・事務長の役務・兼任や、ネットワークが不備等の話題
- ・登録について(移籍の県外、県内等はWebでする説明)
- ・2023年度の登録日程
 - 2月 団面接
 - 3月上旬 地区登録審査
 - 3月20日 県連盟〆切 ※厳守願います

すでにお知らせしてありますように、日本連盟より新登録システムへの移行延期が発表されました。新システムへの移行時期は2023年4月上旬を予定しているとのことです。3月末までは、従来の登録システムにてお願い致します。

(2) 全団調査について

12月14日付の「全団調査2022実施について」で、今年度の全団調査についてお知らせしました。県連盟での記入〆切は、2023年1月末日となっています。地区の登録審査も全団調査のデータをもとに実施いたしますので、必ずご入力をお願いいたします。

III コミッショナーよりのお知らせ

(1) 指導者のつどい

今年度の指導者のつどいは、日本連盟からAISコミッショナーをお招きして、世界スカウト機構(WOSM)が提唱するAISポリシーについての講演を県内すべての成人指導者を対象に開催いたします。指導者養成で困っている事、団運営で煮詰まっている事、他、是非AISポリシーを共有して、

スカウトの成長を見守れる指導者を指すの講演を実施することといたしました。

各団におかれましては、団内に十分周知され、多くの指導者が参加されますようご配慮よろしく
願います。各団1名以上の参加をお願い致します。

- 1 日 時 2023年2月5日(日) 13:30～ (受付13:00)
- 2 場 所 土浦市 土浦青少年の家
- 3 内 容 「スカウトの成長はあなたの研修から!!」

(2) IB-GP県大会

12月よりIB-GPの地区大会が始まりました。Ibaraki Scouting News 9月号にも掲載させていただきましたが、この活動は競技をとおして、ビーバースカウト・カブスカウトにスカウト活動の本当の楽しさ、失敗を糧に成長していく機会を提供するとともに、保護者の参画を促し本運動に対する理解と関心を高めていくことを目的に開催しています。ぜひ多くのスカウトが参加できるよう、お願いいたします。

IV 各種委員会よりのお知らせ

(1) プログラム委員会

- ① ベンチャーラリー2022について
ベンチャーラリーは第3回の実行委員会において実施内容と時期が変更になりました。
「いかだで川下り」
内容：那珂川の御前山～ひたちなか間30kmを手作りの筏で下る企画です。
時期：8月26～28日(予備日9月16～18日)
多くのベンチャースカウトのチャレンジを待っています。
- ② IBグランプリ2022について・・・会場が決定しました。
会 場：笠間芸術の丘公園の野外コンサート広場(屋根付き)
実施日：3月19日(日)
先にお知らせした通り、レースとデザイン賞の応募をお待ちしています。
- ③ 第25回世界スカウトジャンボリーについて
派遣指導者、派遣隊の編成が行われました。
日本連盟派遣A分団第1隊 茨城県連盟からスカウト30人 リーダー3人
埼玉県連盟からスカウト6人 リーダー1人 の合同隊になりました。
事前訓練は4月1日・2日、4月29日・30日、土浦青少年の家で実施予定です。

(2) 指導者養成委員会

- ① 3月5日(日)の第74回ボーイスカウト講習会が土浦市青少年の家で行われます。令和4年度最後の講習会になります。開催案内、要項は各団に発信いたしておりますので、お申し込みください。〆切は2月18日(土)です。
また2023年度、最初に第75回ボーイスカウト講習会が4月に開催予定です。こちらは、決定次第ご案内いたします。

(4) カブ・ビーバースカウト準備委員会

12月理事会でカブ・ビーバースカウト準備委員会のメンバーが承認されました。2023年度の開催(11月上旬を予定)に向けて、候補地の選定や骨子の策定を行っています。2月の定例理事会に、実施概要・予算等を検討する予定です。各団の年間計画にも関係しますので、お知らせします。

V 2023年度日本連盟定型訓練のお知らせ

(1) WB研修所（茨城開催）・団委員研修所（埼玉開催）

ア 日程

- ・ スカウトコース 2023年5月3日（水）～6日（土） 土浦市青少年の家を予定
- ・ 課程別研修 2023年6月11日（日） 同上
- ・ 団委員研修所 2023年7月15日（土）～16日（日） 埼玉県内

イ 取り組み方法

- ① 課題研修の課題の説明と配付
 - ・ まず団委員長に相談しましょう。団委員長から、コミッショナーを紹介してもらい、コミッショナーから、課題研修のねらいや、各課題の意図するところを説明してもらいましょう。
- ② 課題研修への取り組み
 - ・ まずは指定された書籍を読みます。
 - ・ 読み終わったら支援を受けるトレーナーに連絡し、指導を申し込みます。
 - ・ 書籍を読んで、自分が気づいた点、感じたこと、思ったことなどをまず話し、指導を受けます。
 - ・ WB研修所課題のスキルトレーニングについては、実技を伴いますので、対面で認定を受ける必要があります。茨城県連盟では、スカウトコース前に地区ごとに事前研修を実施していますので、そちらに参加してください。
- ③ 履修認定
 - ・ 書籍の課題については、指導を受けた内容・感想等を、指定の「課題研修まとめ用紙」に記述します。
 - ・ スキルトレーニングについては、地区主催の事前研修で該当するスキルトレーニングの項目についてトレーナーから認定をうけたのちに、指導を受けた内容・感想等を指定の「課題研修まとめ用紙」に記述します。
- ④ 研修所参加申込み
 - ・ 課題研修が修了したら、トレーナーに課題研修課題と指導者手帳にサインをもらいます。必要書類をそろえて期限までに地区コミッショナーにご提出ください。同時に、研修申込みフォームからの申し込みも忘れずに。

(2) WB実修所・団委員実修所

ア 日程

課程	期数	開設県連盟	期 間	場 所
BVS	47	日本連盟	9/15～18	那須野営場
CS	177	千葉県連盟	5/4～7	那須野営場
	178	京都連盟	9/15～18	静原野営場
BS	205	愛知連盟	5/3～7	新城・吉川野営場
	206	岡山連盟	5/3～7	布都美林間学校
	207	兵庫連盟	11/1～5	兵庫県立嬉野台生涯学習センター
VS	33	日本連盟	11/1～5	高萩スカウトフィールド
団	32	埼玉県連盟	7/15～17	埼玉県県民活動総合センター
	33	大阪連盟	11/3～5	新大阪ユースホステル
	34	福岡連盟	11/24～26	福岡県立社会教育総合センター

イ 取り組み方法

WB実修所・団委員実修所の事前研修は「課題研究」と呼ばれています。そう「研究」です。その目的は、第二教程・基本訓練に参加する指導者が、研修コースの目標を達成するために、自隊・団の状況を分析し、短い期間において、効果的に学習を行うための事前学習です。自隊・自団の状況をよく分析するとともに、関係する書籍をよく読み、先輩指導者やコミッショナー、トレーナーの指導を受けて、自らのこれまでの隊運営・団運営の方法や自身の知識・スキルなどを評価し、課題を発見するためのものです。そのため、早めに行動を起こし、時間をかけて、じっくりと取り組んでください。また、多くの指導者に支援を依頼して下さい。

① 課題研究の課題の説明と配付

- ・まず団委員長に相談しましょう。団委員長から、コミッショナーを紹介してもらい、コミッショナーから、課題研究のねらいや、各課題の意図するところを説明してもらいましょう。

② 課題研究への取り組み

- ・課題は各部門ごとに異なります。コミッショナーから説明された、各課題の意図をよく理解して取り組みましょう。わからないことがあったら、コミッショナーに相談してください。

③ 履修認定

- ・課題研究については、各課題ごとに見出しをつけるなどして分かり易くファイルしてください。
- ・ファイルをトレーナーに提出して履修認定を受けます。

④ 研修所参加申込み

- ・課題研究が修了したら、トレーナーに課題研究提出用紙と指導者手帳にサインをもらいます。必要書類をそろえて期限までに県連盟事務局に提出します。県コミッショナーの審査を経て、課題研究が承認されれば県連盟事務局からの申し込みとなります。

団委員会・団会議と団委員長のリダーシップ

現在、茨城県連盟には35個の団があります。そのうちスカウト数が50名を超えるのは2個団。25名未満は20個団と57%の団は小規模団となっています。カブ隊とボーイ隊でなんとか2組(班)を編成できる両隊とも10名以上の団は5個団。カブ隊またはボーイ隊のどちらかが10名以上の団は9個団です。スカウト数25名未満の団の内、10盟未満の団は8個団あります。

「組織拡充」が日本連盟、県連盟の目標に掲げられて何十年と経過していますが、スカウト人口は減る一方で、「この減少率では茨城県連盟も80周年時にはなくなっている」と言われる状況です。少子化、部活動の過熱、子どもの多忙化、選択肢の増加など、様々な要因がからんでの結果で、「なんとかしなくては」とはみんな悩んでいると思います。

特効薬はありませんが、多くの団を見ていると、団委員長が活動的であったり、研修への指導者の参加が多い団や、県の行事にスカウトが積極的に参加している団は、スカウト数を伸ばしたり、維持しているように見られます。

団の活動、団委員会や団会議は定期的に行われていますか。団委員会がスカウト募集に責任をもって取り組んでいますか。団と隊の連携はとれていますか。隊が求めたい支援を団委員会に依頼できますか。隊指導者には、スカウトに対して、ワクワク、ドキドキのプログラムを提供し、その成長を支援するとともに大きな仕事があります。団委員会には、その隊活動が円滑に進められるよう人的・物的・経済的支援をする責務があります。そして、それをマネジメントするのが団委員長の責務です。

まずは団委員長が率先して行動されることが重要だと思います。団委員の皆さんにその役割を理解してもらい、団委員会の役務を分担し、機能的に動ける体制づくりをまず進めていきましょう。また、県連盟では団委員長懇談会や団委員長セミナーなど、団の運営上の諸課題や指導者・スカウトの募集の工夫などを学んだり、共有して考えたりする場を設けています。残念ながら参加者があまり多くなく、スカウト数の減少など課題を抱えている団ほど、こうした研修の機会に参加されない傾向があります。副団委員長や今後の活躍を期待している団委員に出席してもらうなど、団委員を育成することも重要かと思えます。

さらに団会議で隊指導者がどのような隊運営をしているか、どんなスカウトを育てているのか、何を必要としているのかを把握することで、必要な時に必要な場所で支援をすることができます。指導者に研修の機会を与えるのも団の責務です。

団の隆盛・衰退は団委員長のリダーシップによるところが大です。県連盟・地区と連携して、団を盛り上げてください。

